

第3回宇宙開発委員会（定例会議）
議 事 次 第

1. 日 時 平成7年1月18日（水）
 14:00～16:00
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) H-IIロケット試験機2号機による技術試験衛星VI型
 （ETS-VI）の打上げ結果の評価に関する審議について
 (3) M-3SIIロケット8号機によるEXPRESSの打上げ
 に係る不具合の原因究明及び今後の対策について
4. 資 料 委3-1 第2回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨（案）
 委3-2 H-IIロケット試験機2号機による技術試験衛星VI
 型（ETS-VI）の打上げ結果の評価に関する審議
 について（案）
 委3-3 M-3SIIロケット8号機によるEXPRESSの
 打上げに係る不具合の原因究明及び今後の対策につ
 いて（案）

委 3 - 1

第 2 回宇宙開発委員会（臨時会議） 議事要旨（案）

1. 日時 平成 7 年 1 月 1 7 日（火）
1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 5 0
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
(2) M-3SII-8号機による軌道上からの無人回収システム
(EXPRESS) の打上げについて
4. 資料 委 2 - 1 第 1 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 2 - 2 M-3SII-8号機発表文
~~M-3SII-8号機の異常飛翔について~~

5. 出席者
宇宙開発委員会委員長代理 野 村 民 也
宇宙開発委員会委員 内 田 勇 夫
" 山 口 開 生
" 末 松 安 晴

関係省庁

- | | |
|--------------------|-------------|
| 通商産業省機械情報産業局次長 | 中 野 正 孝（代理） |
| 郵政大臣官房審議官（通信政策局担当） | 岡 井 元 " |
| 文部大臣官房審議官（学術国際局担当） | 長谷川 正 明 " |

事務局

- | | |
|------------------|---------|
| 科学技術庁長官官房審議官 | 宮 林 正 恭 |
| 科学技術庁研究開発局宇宙企画課長 | 坂 田 東 一 |

他

6. 議事

- (1) 前回議事要旨の確認について
第 1 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委 2 - 1）が確認された。
- (2) M-3SII-8号機による軌道上からの無人回収システム（EXPRESS）の打上げについて
秋葉文部省宇宙科学研究所長より、資料委 2 - 2 に基づき M-3SII-8号機の打上げ時の状況、不具合の発生経過、同研究所における今後の原因究明への取組み方針等について説明が行われた。また、大道通商産業省宇宙産業課長より、今回の不具合の原因究明が進めば、協力相手国の独に
対し、できるだけ早く説明を行いたい旨の発言があった。

これを受けて、宇宙開発委員会としても今回の打上げに係る不具合について、その原因究明と対策についてできる限り速やかに調査審議を行うことが確認された。

委 3 - 2

H-II ロケット試験機2号機による技術試験衛星VI型（ETS-VI）の打上げ
結果の評価に関する審議について（案）

平成7年1月18日

宇宙開発委員会決定

1. 平成6年8月28日に宇宙開発事業団が行ったH-II ロケット試験機2号機による技術試験衛星VI型（ETS-VI）の打上げ結果を評価するため、調査審議を行うものとする。ただし、調査審議の対象としては、技術試験衛星VI型特別調査委員会の調査審議項目を除くこととする。
2. このため、評価に必要な技術的事項について、技術評価部会において調査審議を行うものとする。この調査審議は平成7年2月中旬までに終えることを目途とする。

(参 考)

宇宙開発委員会技術評価部会構成員

(平成7年1月)

(部会長)

前田 弘 京都大学名誉教授

(部会長代理)

鈴木 昭夫 前科学技術庁航空宇宙技術研究所角田支所長

石澤 禎弘(*) 宇宙開発事業団理事

上杉 邦憲 文部省宇宙科学研究所教授

久保田弘敏 東京大学工学部教授

五代 富文(*) 宇宙開発事業団理事

小林 康德 筑波大学構造工学系教授

田邊 徹 東京大学工学部教授

垂井 康夫 早稲田大学理工学研究科客員教授

手代木扶 郵政省通信総合研究所総合研究官

中島 厚 科学技術庁航空宇宙技術研究所宇宙研究グループ

第12研究グループグループリーダー

西島 敏 科学技術庁金属材料研究所損傷機構研究部長

野中 保雄 東京理科大学工学部教授

原島 文雄 東京大学生産技術研究所長

廣澤 春任 文部省宇宙科学研究所教授

安永 啓一 日本放送協会技術局送信技術センター長

(*) 印の専門委員は、今回の調査審議に*ついて*は説明者として参加。
関与あり

M-3SIIロケット8号機によるEXPRESSの打上げに係る不具合の原因
究明及び今後の対策について（案）

平成7年1月18日

宇宙開発委員会決定

通商産業省及び文部省宇宙科学研究所が行ったM-3SIIロケット8号機によるEXPRESS（軌道上からの無人回収システム）の打上げにおいて、同ロケットに不具合が生じ、EXPRESSによる実験実施が不可能になったことを踏まえ、技術評価部会において、できる限りすみやかに今回の不具合の原因を究明し、併せて、今後の対策等について調査審議を行うものとする。

本調査審議は平成7年5月末までに終了することを目途とする。

(参 考)

宇宙開発委員会技術評価部会構成員

(平成7年1月)

(部会長)

前田 弘 京都大学名誉教授

(部会長代理)

鈴木 昭夫 前科学技術庁航空宇宙技術研究所角田支所長

石澤 禎弘 宇宙開発事業団理事

上杉 邦憲(*) 文部省宇宙科学研究所教授

久保田弘敏 東京大学工学部教授

五代 富文 宇宙開発事業団理事

小林 康德 筑波大学構造工学系教授

田邊 徹 東京大学工学部教授

垂井 康夫 早稲田大学理工学研究科客員教授

手代木扶 郵政省通信総合研究所総合研究官

中島 厚 科学技術庁航空宇宙技術研究所宇宙研究グループ

第12研究グループグループリーダー

西島 敏 科学技術庁金属材料研究所損傷機構研究部長

野中 保雄 東京理科大学工学部教授

原島 文雄 東京大学生産技術研究所長

廣澤 春任(*) 文部省宇宙科学研究所教授

安永 啓一 日本放送協会技術局送信技術センター長

(*) 印の専門委員は、今回の調査審議には関与しない。